

藤田真央

ピアノ・リサイタル

天才たちのプレリユード

世界で唯一のプレミアム・コンサート

72 Preludes

MAO FUJITA PIANO RECITAL 72 PRELUDES

スクリャービン：24の前奏曲 Op.11
Scriabin: 24 Preludes Op.11

矢代秋雄：24の前奏曲
Akio Yashiro: 24 Preludes

ショパン：24の前奏曲 Op.28
Chopin: 24 Preludes Op.28

2024年12月12日(木) 18:30開演 17:50開場(終演予定 21:10)
6:30p.m., Thursday, December 12, 2024 at Suntory Hall

サントリーホール

東京メトロ池山王駅13番出口徒歩10分 東京メトロ六本木一丁目駅3番出口徒歩5分

S: ¥13,000 A: ¥9,000 B: ¥6,000

※料金には消費税が含まれています。※特別割引につきましては裏面をご覧ください。
※先行販売等で満席になった際は、以降販売されない場合がございます。

ジャパン・アーツびあオンラインチケット 抽選先行受付 10月21日(月) 10:00～10月28日(月)

抽選結果配信予定：10月30日(水) ※申込みには、ジャパン・アーツびあオンラインチケットの会員登録(無料)が必要です。

ジャパン・アーツびあオンラインチケット 先着先行発売：11月3日(日) 10:00～

一般発売WEB：11月9日(土) 10:00～ 一般発売TEL：11月10日(日) 10:00～

※本公演は「特定興行入場券」対象です。主催者の同意なく有償での譲渡を禁止します。

※ご購入日時・受取方法に関わらずチケットの発券は11月20日(水)以降となります。

お申込み ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp/

サントリーホールチケットセンター suntory.jp/HALL/

チケットびあ t.pia.jp <Pコード：278-926>

主催：ジャパン・アーツ 協力：ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

藤田真央とみる夢 —— 72 Preludes に寄せて

青澤隆明

夢を聴く。それは、なにのプレリュードなのだろう。次々とページを捲るように、絵画展を歩くように、音の光景が拓かれていく。物語をなすにはごく短い、その分多彩に喚起的なイメージが連なる。藤田真央のピアノがあたたかく、その夢を綿密に息づかせていく。

いまひらかれるさまざまな夢は、かつて若き天才たちによって孤独に夢みられたものだ。ショパンは20代、スクリャーピンは10代後半から20代前半、そして矢代秋雄は第二次大戦末期を生きぬく15歳の青年だった。その意味では手探りのさなか、はじまりの光景とみていい。

プレリュードとは、それぞれの来たるべき音楽への触手でもあった。遙かバッハからショパンへ、ショパンからスクリャーピン、そして矢代秋雄へと、時代とともに変容する調性音楽の結晶で、多様なポエジーの沸騰である。閃いては移りゆくイメージの飛翔があり、つかの間の沈潜もある。彼らはいずれも独創的な構築家にして、瞬間の天才であった。

自らも20代半ばを歩む藤田真央が、時代を超えて、それらをていねいに掬い上げ、新たなアルバム『72 Preludes』という万華鏡のような音詩集にまとめ上げた。近年集中してきたモーツァルトのソナタが対話と劇場の世界であるとすれば、三者三様のプレリュードは自由詩が連なる豊饒と称えられようか。ピアノの音色や表現の多彩さが、より感覚的に深く求められる領域でもある。

天才たちのプレリュードは、未来への前奏曲であった。傑出した音楽作品もその演奏も、人間の創造力への確かな信頼なくしては成り立たない。いまのところ世界中で一度きりの機会となる2024年12月12日のリサイタルで、ピアニストはいまもてる音色や表現、想像力や心象のすべてを注ぎ、3巻の曲集、72曲のひとつひとつをまた新しく生きることになる。

どこか懐かしさを覚えるとしたら、それは夢であるからだけではなく、藤田真央の織りなす響きが、綿密なまなざしと円かな人間味をもって、やわらかに時を手繰り寄せるからだろう。

藤田真央 (ピアノ) Mao Fujita, Piano

2017年第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクール優勝。2019年チャイコフスキー国際コンクールで第2位を受賞。ルツェルン音楽祭、ヴェルビエ音楽祭など主要な音楽祭へ定期的に出演。2024年8月、フルシャ指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団との共演でBBCプロムスにデビュー。同年10月、アン・デア・ウィーン劇場リニューアル記念コンサートにウィーン交響楽団と出演。11月にはカーネギー・ホールにてホール主催のソロ・リサイタルで再登場。その他、ブラハ、ミュンヘン、アムステルダム、ベルリン、ケルン、チューリッヒ、シカゴなどの欧米主要都市でソロ・リサイタルを予定している。

クリストフ・エッセンバッハ、リッカルド・シャイー、アンドリス・ネルソンス、マレク・ヤノフスキ、セミヨン・ビシュコフ、ヴァシリイ・ペトレンコ、ペトル・ポベルカといった指揮者たちからの信頼も厚い。

2021年11月、ソニークラシカル・インターナショナルと専属レコーディングのマルチアルバム契約を締結し、2022年10月には〈モーツァルト：ピアノ・ソナタ全曲集〉を、2024年9月に〈72 Preludes ショパン/スクリャーピン/矢代秋雄：24の前奏曲〉をリリース。

<特別割引チケットのお知らせ>

◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。
(ジャパン・アーツ・アコールセンターのみで受付)

X (旧Twitter)でフォローする
@japan_arts

【次のことをあらかじめご了承の上、チケットをお求めください】

①本公演は「特定興行入場券」対象です。主催者の同意なく有償での譲渡を禁止します。②やむを得ない事情により、曲順・曲目等が変更になる場合がございます。③公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。④いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。⑤演奏中は入場できません。開演時間に遅れますと、長時間ご入場をお待ちいただくことになります。時間には余裕をもってお越しください。⑥未就学児の同伴はご遠慮ください。なお、就学児以上の方もご入場には一人1枚チケットが必要です。⑦全席指定です。券面に記載された指定のお座席にてご鑑賞下さい。⑧場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。



輝きを増し続ける天賦の才、世界待望のセカンド・アルバム。

藤田真央 | 72 Preludes ショパン/スクリャーピン/矢代秋雄：24の前奏曲

- DISC1 ショパン：24の前奏曲 作品28
- DISC2 スクリャーピン：24の前奏曲 作品11/矢代秋雄：24の前奏曲

【演奏】藤田真央(ピアノ) 【録音】2023年12月4-7日、10-12日、2024年4月9-12日 b-sharp(ベルリン)

チャイコフスキー国際コンクールで第2位受賞を機に、ヴェルビエ音楽祭(スイス)への出演、ソニー・クラシカルからの全世界デビュー、数々の世界の檜舞台への出演と、音楽の最高峰に歩を進める若きヴィルトゥオーゾ藤田真央。全世界待望のセカンド・アルバムは、国、年代を異にする3人の作曲家がそれぞれ作曲した「24の前奏曲」を完全収録した2枚組、合計72トラックの大作です。ショパンの24の前奏曲を軸にして、3作の前奏曲集はきわめてコンセプチュアルに配置され、それぞれに異なりながらも一つに結びついた魅力的な音楽世界を作り出しています。

絶賛発売中
定価 ¥4,000 (税抜価格 ¥3,636)
2CD ● SICC 30894-95

DSD & 96kHz/24bit
ハイレゾリューションオーディオ

MAO FUJITA